楽しいと思える学校、充実感のある学校、誇りに思える学校を目指して

さかえ

学校便り　NO．１５
令和８年１０月　６日
帯広市立栄小学校
文責　校長　新川　和範

今年度の重点：児童の願いに寄り添い、力を引き出す教育の実現　　合い言葉：みんなヒーローになろう

さかえドンドンフェスタ開催



栄小地区地域ネットワーク委員会が主催するさかえドンドンフェスタが9月27日（日）に体育館、1階の多目的室、音楽室を会場に開催されました。



開会式では、PTA 会長の飯田さんによる司会のもと、委員長の政野さんや栄っ子ふれあいの会副代表の澤田さんに挨拶をいただきました。

その後、児童は2つのグループに分かれ、音楽室と多目的室で、ものづくり体験に取り組んだり、体育館において射的やストラックアウト、くじ、アスレチックなどのゲームコーナーで楽しんだりしました。



当日は地域の皆様が約20名、PTA の皆様が約30名参加し、スタッフとしてご協力を賜りました。



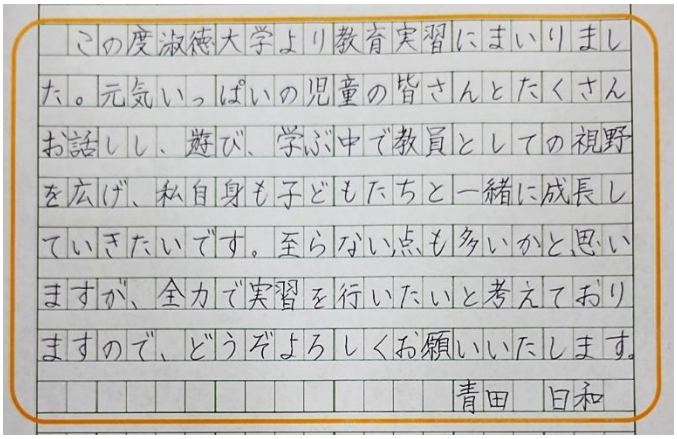
また、卒業生も3名来校し手伝ってくれるなど、大変すばらしい環境の中、児童が存分に楽しむことができました。地域の皆様、PTA の皆様、卒業生の皆さん、本当にありがとうございました。

教育実習生来校



9月28日（月）から10月29日（火）まで、養護教諭を目指し、青田日和先生（本校卒業生）が教育実習に来ています。以下、青田先生からの挨拶文を紹介いたします。

青田先生、引き続きよろしくお願いします。



この度北海道大学より教育実習にまいりました。元気いっぱいの児童の皆さんとたくさんお話しし、遊び、学ぶ中で教員としての視野を広げ、私自身も子どもたちと一緒に成長していきたいです。至らない点も多いかと思いますが、全力で実習を行いたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

青田　日和

帽子や手袋の準備と着用を



気がつくと草や葉が色づいてきており、短い秋の訪れを感じます。朝の見守りをしていますと、寒暖差が大きくなってきており、手袋が手放せなくなってきています。また、最近はインフルエンザや新型コロナウイルスなどの流行の兆しが報道されています。

ご家庭におかれましては、防寒用の帽子や手袋、洋服の準備と着用の声がけをお願いいたします。

お知らせ　先日 OCTV から、本校の学習発表会について取材し「学校大好き」という番組で紹介させていただきたいとの連絡がありましたのでお知らせします。取材等に関わり、何か心配事等ございましたら、栄小学校（36-4873）までお知らせください。

１学期の評価について③

1学期の評価について②に続きまして、今回は保護者の評価を加えた児童、保護者、職員三者の結果をお知らせいたします。下表に、前回お知らせいたしました児童、保護者の皆様の右側に、職員の結果を併記しております。

はじめに、すべての児童が安心して登校し、学びを終え納得して下校し、また次の日に、安心して登校する…。そのような日々の繰り返しができる学校でありたいと全職員が願い、児童に働きかけておりますことから“学校は楽しい⇒『明るく、元気な子（目標）』”という項目において、職員の評価が特に高くなっておりますが、そのことに対して児童も実感し、また保護者の皆様も高く評価をしてくださっていること、大変うれしく思っております。

質問の各項目につきましては、児童への質問は「1学期になにかしらのヒーローになることができましたか」となっておりますが、保護者に対しましては「自己有用感を高める合い言葉のもと、ご家庭でもお子様の成長が見られましたか」といったお子さんの言動や様子からお答えいただくなど（職員は、「～努めているか」）、それぞれの立場から回答しやすいように文言を変えておりますので、そのように質問を読み換えてご覧ください。

三者を見比べますと、「努力・人の役に立つ」、「基本的な生活習慣」、「美化意識」、「自己有用感（みんなヒーローになろう）」の4項目におきましては、保護者の皆様や児童の受け止め方、そして職員の振り返りの傾向にほとんどずれがないことから、大方受け止め方の相違はないことがわかります。加えて「粘り強く、頑張る」、「健康・体力向上の推進」以外の各項目につきましても、最大差が0．4以内と、三者は、同じように感じていることがわかりました。

「粘り強く、頑張る」、「健康・体力向上の推進」の2項目につきましては、児童、保護者の皆様の評価は高いものの、職員の評価との最大差がそれぞれ、0．7、0．9となっております。これは、職員が課題と感じている、言い換えれば、まだまだ伸びしろがあると期待していると読み取っていただければと思います。

以上の考察を踏まえ、今後も、全職員で継続して教育活動を進めてまいりますとともに、学校での様子を様々な形で積極的にお知らせしてまいります。

なお、昨年度から、再三話題になっております「挨拶」につきましては、1学期に重点（あいさつ20）として全職員で言葉かけをしてまいりました。様々な場面で改善が見られておりますが、2学期も引き続き、誰に対しても、どの場面でも、何度でもしっかりできるよう、保護者、地域の皆様と連携して声かけをしてまいります

「家庭学習の取組」につきましては、今回の項目には入っておりませんが、学びっこ通信の生活リズムチェックシートの結果でもお示ししました通り、改善傾向が見られるものの個人差が大きいことから、引き続き重点課題であるとおさえております。家庭学習につきましては近隣校とも連携して取り組んでおり、今後も家庭学習の大切さについて重ねて指導してまいりますので、保護者の皆様におかれましても、日頃から家庭学習の在り方や取組方について、お子さんの実態把握と継続的な言葉かけをお願いいたします。

以上、何かご不明な点やご心配な点がございましたらお知らせください。引き続き、本校の教育に対しまして、ご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

＜保護者の皆様のアンケートの結果と児童、教職員の結果を合わせたもの＞

質　　問	児童回答	保護者回答	職員回答
進んで手をあげたり発表できたりできたか⇒『よく考え、自ら学ぶ子（学校教育目標、以下目標）』	3.2	3.3	3.0
思いやりの心をもち、いじめ無く友達と仲良くできたか⇒『自分や友達を大切にする子（目標）』	3.6	3.3	3.2
自分自身の目標に向かい、努力できたか⇒『ねばり強く、がんばる子（目標）』	3.6	3.4	2.9
学校は楽しい⇒『明るく、元気な子（目標）』	3.4	3.5	3.7
「栄っ子７ルール」を守り、学習することができたか⇒『学習の約束の徹底』	3.4	3.2	3.6
授業や家庭学習にテレビやタブレットを良く使っているか⇒『ICT の積極的な活用』	3.5	3.4	3.1
体育や休み時間に進んで運動したり遊んだりしているか⇒『健康・体力向上の推進』	3.6	3.4	2.7
先生は、がんばったりみんなのためになる行動をしたりすると、褒めたり励ましたりしてくれるか⇒『努力、人の役に立つ行動』	3.4	3.4	3.6
挨拶や返事、言葉遣いに気をつけているか⇒『基本的な生活習慣の定着』	3.4	3.3	3.5
自分や友達のことを大切に感じたり、ルールを守って生活することの大切さを感じたりしているか⇒『規範意識の向上』	3.6	3.4	3.3
進んで掃除に取り組み、きれいな学校作りを心がけているか⇒『美化意識の向上』	3.5	3.4	3.5
「みんなヒーローになろう」について、何かしらのヒーローになることができましたか？（自己有用感を高める「みんなヒーローになろう」を合い言葉にした取組のもと、自信、貢献、自ら学ぶ等、児童に成長が見られたか）	3.4	3.4	3.3